

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
パンタ ポーラ

教育の責任

私の専門は情報学であり、日本国際学園大学経営情報学部ビジネスデザイン学科において、主としてプログラミング、データベース、ネットワーク、ネットワーク情報セキュリティおよびデータサイエンスに関する科目を担当しています。2025年度現在の担当科目とその概略は以下のとおりです。

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
情報リテラシー(留学生)②	1-2	28	講義 演習	必須	入門科目 (1年次から履修できる教養系科目)
ビジネス数理 2	3-4	1	講義 演習	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
データベース	3	6	講義 演習	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
ネットワーク活用, ネットワーク活用 1	2-4	23	講義	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
情報システム	2-4	14	講義	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
ビジネス数理 1 ビジネス数理(データサイエンス)	2-4	0	講義 演習	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
情報デザイン特論 III, 情報デザイン特論 C (機械学習、統計学、データマイニング)	3-4	0	講義	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
プログラミング D (Python)	3-4	2	講義 演習	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
海外留学	2	7	集中 (UC Davis)	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)
海外留学現地報告演習	2	7	集中 (UC Davis)	選択	専門基礎・共通 (コース共通の専門科目)

※2025年7月4現在

教育の理念

情報科学分野の教育においては、情報通信技術 (ICT) を構成する要素を体系的に理解し、これを実生活の中で有用な道具として活用できるよう、基礎的な知識および技能の修得を目指します。

プログラミング、データベース、ネットワーク・セキュリティ、データサイエンス、ビジネス数理といった分野の学習を通じて、課題解決力を育成し、21世紀を生き抜くために必要なコンピテンシーを備えた人材の育成に努めています。

ビッグデータと AI の時代を迎え、「数理・データサイエンス・AI」のスキルはますます重要性を増

しています。学生には、これらの知識と考え方を身につけ、社会の多様な課題に対して主体的に取り組み、貢献できる力を養ってほしいと考えています。

教育の方法

学生が実践的な知識と応用力を習得できるよう、以下の教育方法を取り入れます。

1. 基礎知識・技術の定着: 各授業で扱う科目の基本となる知識と技術を確実に身につけるため、出席課題を通して理解度を確認し、定着を促します。
2. 問題解決能力の育成: 与えられた問題に対して、学生自身が思考し、最適な解決策を見つけ出す力を養うため、段階的に難易度を上げた思考・応用型課題を導入します。これらの課題は、個別演習と、協調性を育むグループワーク（3～5名程度）の双方で実施します。
3. 資格試験対策（該当科目のみ）: 資格取得を目指す科目においては、過去問題の徹底的な演習を通じて、試験に対応できる実践的な解答力を養成します。
4. 実社会との接続: 授業では、教科書、参考書、講義ノートの重要事項を網羅しつつ、各業界における具体的な応用事例や最新トレンドを豊富に紹介します。これにより、学生は履修科目が社会でどのように活かされているかを深く理解し、学習意欲を高めます。
5. 多角的なスキルの向上: 小テストやレポート提出においては、専門的な技術内容の正確性に加え、自身の考えを論理的に構成し、他者に伝えるための表現力やプレゼンテーション能力も重視して指導します。フィードバックを通じて、これらのスキルを総合的に磨き上げます。
6. 最新情報の活用: ICT 関連科目である特性を活かし、授業内容に関連する信頼性の高いインターネット上の Web サイトや有用なコンテンツを適宜紹介し、学生が自ら学びを深める機会を提供します。

教育の成果 および 今後の目標

詳細は「授業改善報告書」を参照。

参考資料

1. 各科目のシラバス参照
<https://www2.japan-iu.ac.jp/Syllabus/SearchLessonResult.asp?nendo=2025&mode=SearchByTeacher&teachercode=800583>（改行なし）
2. 講義ノート（Classroom にて提供、学外非公開）
3. 講義中、必要に応じて内容に相応しいインターネットの Web サイト、動画など

2025年7月4日現在